

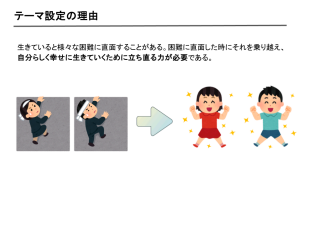

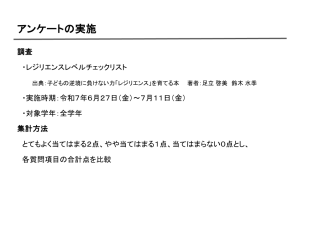
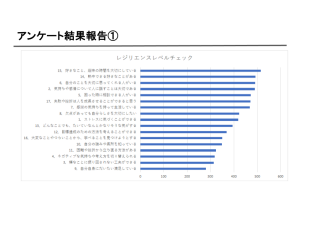
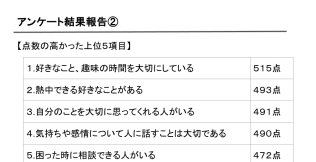
























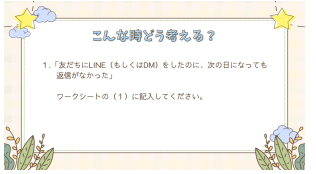
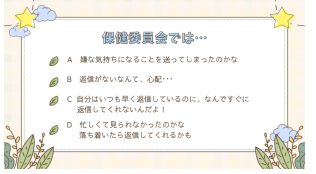

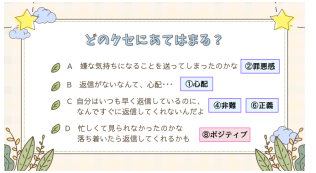
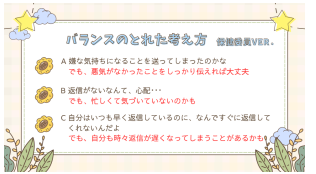






	スライド	原稿												
1		<p>これから保健委員会の発表をはじめます。礼 今年度のテーマは『レジリエンス～困難に直面しても立ち直る力を育てよう～』についてです。</p>												
2		<p>まず、レジリエンスとはストレスや困難な場面に直面したときに、立ち直ったり、しなやかに乗り越えたりする力のことです。</p>												
3		<p>次に、レジリエンスをテーマに設定した理由についてです。生きていくと様々な困難に直面することがあります。3年生は卒業後、進学や就職で新しい環境になり、今まで経験しなかった困難に直面するかもしれません。1、2年生も、勉強、部活、人間関係など困難な状況に直面することがあると思います。そのような時に、その困難を乗り越えて自分らしく幸せに生きていくために立ち直る力が必要だと考え、このテーマを設定しました。</p>												
4		<p>最初に、保健委員会では、レジリエンスはどんな場面で発揮されるか、今の自分たちの生活の中で具体的な場面を考えてみました。 『部活のレギュラーを目指していたがケガで断念。しかしチームをサポートする役割になり、チームの目標達成に貢献しようとする』や『授業で間違えてしまったが、次の授業では挽回できるように予習をがんばる』また、『苦手なことをやるときに諦めるのではなく、人の協力を得ながら挑戦しようとする』などが挙がりました。</p>												
5		<p>現在の吉井高生のレジリエンスの状況を把握するために全校生徒を対象にアンケートを実施しました。 全17問で質問内容について自分自身や自分の考え方に「とてもよく当てはまる」「やや当てはまる」「当てはまらない」で回答してもらいました。 集計方法は「とてもよく当てはまる」を2点、「やや当てはまる」を1点、「当てはまらない」を0点として各質問項目の合計点を比較しました。</p>												
6		<p>こちらがアンケートの集計結果の一覧です。</p>												
7	 <table border="1" data-bbox="247 1870 534 2004"> <thead> <tr> <th colspan="2">【点数の高かった上位5項目】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.好きなこと、趣味の時間を大切にしている</td> <td>515点</td> </tr> <tr> <td>2.熱中できる好きなことがある</td> <td>493点</td> </tr> <tr> <td>3.自分のことを大切に思ってくれる人がいる</td> <td>491点</td> </tr> <tr> <td>4.気持ちや感情について人に話すことは大切である</td> <td>490点</td> </tr> <tr> <td>5.困った時に相談できる人がいる</td> <td>472点</td> </tr> </tbody> </table>	【点数の高かった上位5項目】		1.好きなこと、趣味の時間を大切にしている	515点	2.熱中できる好きなことがある	493点	3.自分のことを大切に思ってくれる人がいる	491点	4.気持ちや感情について人に話すことは大切である	490点	5.困った時に相談できる人がいる	472点	<p>点数が高かった項目を5つ紹介します。一番点数が高かった項目は、「好きなこと、趣味の時間を大切にしている」でした。2番目は、「熱中できる好きなことがある」、3番目は「自分のことを大切に思ってくれる人がいる」、4番目は「気持ちや感情について人に話すことは大切である」5番目は「困った時に相談できる人がいる」でした。</p>
【点数の高かった上位5項目】														
1.好きなこと、趣味の時間を大切にしている	515点													
2.熱中できる好きなことがある	493点													
3.自分のことを大切に思ってくれる人がいる	491点													
4.気持ちや感情について人に話すことは大切である	490点													
5.困った時に相談できる人がいる	472点													

8	<p>アンケート結果報告③</p> <p>【点数の低かった下位5項目】</p> <table border="1"> <tr><td>1. 自分自身にだいたい満足している</td><td>281点</td></tr> <tr><td>2. 嫌なことに振り回されない工夫ができる</td><td>314点</td></tr> <tr><td>3. ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる</td><td>318点</td></tr> <tr><td>4. 困難や挫折から立ち直る方法がある</td><td>324点</td></tr> <tr><td>5. 自分の強みや長所を知っている</td><td>349点</td></tr> </table>	1. 自分自身にだいたい満足している	281点	2. 嫌なことに振り回されない工夫ができる	314点	3. ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	318点	4. 困難や挫折から立ち直る方法がある	324点	5. 自分の強みや長所を知っている	349点	<p>反対に点数が低かった項目を5つ紹介します。1番低かった項目は「自分自身にだいたい満足している」で、2番目は「嫌なことに振り回されない工夫ができる」、3番目は「ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる」、4番目は「困難や挫折から立ち直る方法がある」5番目は「自分の強みや長所を知っている」でした。</p>		
1. 自分自身にだいたい満足している	281点													
2. 嫌なことに振り回されない工夫ができる	314点													
3. ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	318点													
4. 困難や挫折から立ち直る方法がある	324点													
5. 自分の強みや長所を知っている	349点													
9	<p>アンケート結果のまとめ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>点数が低かった項目</th> <th>育てたい力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身にだいたい満足している</td> <td>自己肯定感</td> </tr> <tr> <td>嫌なことに振り回されない工夫ができる</td> <td>感情を調整する力</td> </tr> <tr> <td>ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる</td> <td>考え方のクセに気づき、変える力</td> </tr> <tr> <td>困難や挫折から立ち直る方法がある</td> <td>自己効力感</td> </tr> <tr> <td>自分の強みや長所を知っている</td> <td>強みに気づき、活用する力</td> </tr> </tbody> </table>	点数が低かった項目	育てたい力	自分自身にだいたい満足している	自己肯定感	嫌なことに振り回されない工夫ができる	感情を調整する力	ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	考え方のクセに気づき、変える力	困難や挫折から立ち直る方法がある	自己効力感	自分の強みや長所を知っている	強みに気づき、活用する力	<p>点数が低かった項目に注目すると、<input checked="" type="checkbox"/>『自己肯定感』や<input checked="" type="checkbox"/>『感情を調整する力』<input checked="" type="checkbox"/>『自分の考え方のクセに気づいて変える力』<input checked="" type="checkbox"/>『自己効力感』<input checked="" type="checkbox"/>『自分の強みに気づいて、活用する力』を育てることが必要だとわかりました。保健委員会ではこの結果を踏まえてそれぞれの力が育つよう活動しました。</p>
点数が低かった項目	育てたい力													
自分自身にだいたい満足している	自己肯定感													
嫌なことに振り回されない工夫ができる	感情を調整する力													
ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	考え方のクセに気づき、変える力													
困難や挫折から立ち直る方法がある	自己効力感													
自分の強みや長所を知っている	強みに気づき、活用する力													
10	<p>保健委員会の取り組み 調べ学習</p> <table border="1"> <tr><td>自分自身にだいたい満足している</td><td>自己肯定感</td></tr> <tr><td>嫌なことに振り回されない工夫ができる</td><td>感情を調整する力</td></tr> <tr><td>ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる</td><td>考え方のクセに気づき、変える力</td></tr> <tr><td>困難や挫折から立ち直る方法がある</td><td>自己効力感</td></tr> <tr><td>自分の強みや長所を知っている</td><td>強みに気づき、活用する力</td></tr> </table>	自分自身にだいたい満足している	自己肯定感	嫌なことに振り回されない工夫ができる	感情を調整する力	ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	考え方のクセに気づき、変える力	困難や挫折から立ち直る方法がある	自己効力感	自分の強みや長所を知っている	強みに気づき、活用する力	<p>まず、自己肯定感と自己効力感について、保健委員会が取り組んだことを発表します。</p>		
自分自身にだいたい満足している	自己肯定感													
嫌なことに振り回されない工夫ができる	感情を調整する力													
ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	考え方のクセに気づき、変える力													
困難や挫折から立ち直る方法がある	自己効力感													
自分の強みや長所を知っている	強みに気づき、活用する力													
11	<p>保健委員会の取り組み 調べ学習</p> <p>①自己肯定感とは 自己肯定感を高める方法</p> <p>②自己効力感とは 自己効力感を高める方法</p> <p>③ネガティブな感情の役割や特徴</p> <p>④ポジティブな感情の役割や特徴</p> <p>⑤セルフコンパッションについて</p> 	<p>自己肯定感や自己効力感、また、今回のテーマに関連する内容について調べ学習を行い、保健だより等で啓発しました。</p>												
12	<p>自己肯定感</p> <p>ありのままの自分を価値のある存在として認め、肯定的に捉える感覚のことです。</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>自己肯定感が高い人</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎物事をポジティブに捉え、困難な状況でもくじけずに挑戦できる ◎失敗を恐れず、新しいことに挑戦できる </td> <td> <p>自己肯定感が低い人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分を過小評価し、他人と比較して落ち込みやすい ●他人の評価を過度に気にしたりする傾向がある </td> </tr> </table>	<p>自己肯定感が高い人</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎物事をポジティブに捉え、困難な状況でもくじけずに挑戦できる ◎失敗を恐れず、新しいことに挑戦できる 	<p>自己肯定感が低い人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分を過小評価し、他人と比較して落ち込みやすい ●他人の評価を過度に気にしたりする傾向がある 	<p>自己肯定感とはありのままの自分を価値のある存在として認め、肯定的に捉える感覚のことです。 自己肯定感が高いと、物事をポジティブに捉え、困難な状況でもくじけにくかったり、失敗を恐れず、新しいことに挑戦できたりします。 反対に自己肯定感が低いと、自分を過小評価し、他人と比較して落ち込みやすかったり、他人の評価を過度に気にしたりする傾向があります。</p>										
<p>自己肯定感が高い人</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎物事をポジティブに捉え、困難な状況でもくじけずに挑戦できる ◎失敗を恐れず、新しいことに挑戦できる 	<p>自己肯定感が低い人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分を過小評価し、他人と比較して落ち込みやすい ●他人の評価を過度に気にしたりする傾向がある 													
13	<p>自己肯定感を高める方法</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>難しいと感じることに挑戦</p>  </td> <td> <p>自分の強みや好きなことに目を向ける</p>  </td> <td> <p>周り自分と比べない</p>  </td> </tr> </table>	<p>難しいと感じることに挑戦</p> 	<p>自分の強みや好きなことに目を向ける</p> 	<p>周り自分と比べない</p> 	<p>自己肯定感を高める方法1つ目は、自分が普段難しいと感じるものに挑戦することです。挑戦することが自分の成長体験になり、自信につながります。2つ目は、自分の強みや好きなことに目を向けることです。3つ目は周り自分と比べず、自分にしかない魅力を好きになることです。</p>									
<p>難しいと感じることに挑戦</p> 	<p>自分の強みや好きなことに目を向ける</p> 	<p>周り自分と比べない</p> 												
14	<p>自己効力感</p> <p>自分が特定の状況で目標を達成できると信じる感覚</p> <p>自己効力感が高いと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な状況でも積極的に行動し、目標達成の可能性が高められる ・自己効力感が高い人は学業や仕事、健康など、さまざまな分野で重要であり、問題解決能力に影響を与える 	<p>次に自己効力感とは、自分が特定の状況で目標を達成できると信じる感覚のことです。 自己効力感が高いと困難な状況でも積極的に行動し、目標達成の可能性が高められ、問題解決能力に影響を与えます。</p>												
15	<p>自己効力感を高める方法</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>成功体験を増やす</p>  </td> <td> <p>代理体験を積む</p>  </td> <td> <p>周囲からの励まし・評価</p>  </td> <td> <p>自分軸で成長を評価</p>  </td> </tr> </table>	<p>成功体験を増やす</p> 	<p>代理体験を積む</p> 	<p>周囲からの励まし・評価</p> 	<p>自分軸で成長を評価</p> 	<p>自己効力感を高める方法1つ目は、成功体験を増やすことです。「自分にはできる」という、自己効力感が高まります。2つ目は代理体験を積むことです。他人が成功するのを観察して、自分にもできるという信念を育みます。3つ目は周囲からの励ましや評価です。他者からの励ましや評価は確信や自信を高めてくれます。4つ目は自分軸で成長を評価することです。他人と比較するのではなく、過去の自分と比較し評価することで、自己効力感が高まります。</p>								
<p>成功体験を増やす</p> 	<p>代理体験を積む</p> 	<p>周囲からの励まし・評価</p> 	<p>自分軸で成長を評価</p> 											

<p>16</p>	<p>保健委員会の取り組み 発表</p> <table border="1"> <tr> <td>自分自身にだいたい満足している</td> <td>自己肯定感</td> </tr> <tr> <td>嫌なことに振り回されない工夫ができる</td> <td>感情を調整する力</td> </tr> <tr> <td>ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる</td> <td>考え方のクセに気づき変える力</td> </tr> <tr> <td>困難や挫折から立ち直る方法がある</td> <td>自己効力感</td> </tr> <tr> <td>自分の強みや長所を知っている</td> <td>強みに気づき活用する力</td> </tr> </table>	自分自身にだいたい満足している	自己肯定感	嫌なことに振り回されない工夫ができる	感情を調整する力	ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	考え方のクセに気づき変える力	困難や挫折から立ち直る方法がある	自己効力感	自分の強みや長所を知っている	強みに気づき活用する力	<p>次に「考え方のクセに気づき変える力」について、保健委員会が取り組んだことを発表します。</p>
自分自身にだいたい満足している	自己肯定感											
嫌なことに振り回されない工夫ができる	感情を調整する力											
ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる	考え方のクセに気づき変える力											
困難や挫折から立ち直る方法がある	自己効力感											
自分の強みや長所を知っている	強みに気づき活用する力											
<p>17</p>		<p>全校生徒へリモートによる発表を行いました。また、発表を聞きながらワークシートを記入してもらった形で進めました。これから、発表した内容について一部ご紹介します。</p>										
<p>18</p>		<p>まず、「友だちにLINE、もしくはDMをしたのに、次の日になっても返信がなかった」といった場面で、自分だったらどう考えるか？についてワークシートに記入してもらいました。</p>										
<p>19</p>		<p>次に、保健委員で事前に考えたものを発表し、1つの出来事でも様々な考え方があることを伝えました。また、考え方の中には、ネガティブなものもあり、ネガティブな考え方がクセになっていると、必要以上にネガティブになり、感情や行動に影響がでたり、振り回されたりしてしまうことを伝えました。</p>										
<p>20</p>		<p>ネガティブな考え方のクセには、大きく分けると7種類ありそれぞれについて簡単に説明しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「ひどい結果になるに違いない」という『心配』 ②「全部自分が悪いんだ」という『罪悪感』 ③「自分にできるわけない」という『あきらめ』 ④「自分は悪くない。あいつが悪いんだ」と人のせいにする『非難』 ⑤「どうでもいい」と問題から目をそむける『無関心』 ⑥公平さや正しさをとでも気にして、間違っていると思うと怒りを感じる『正義』 ⑦「自分よりみんなの方が優れている」という敗北者 <p>の7種類です。</p>										
<p>21</p>		<p>保健委員の考え方を参考に自分の考え方のクセがどれに当てはまるか考えてもらいました。</p>										
<p>22</p>		<p>そして、考え方がネガティブに偏っていた場合は『でも』をつけて、バランスのとれた考え方に修正する練習をしました。事前に保健委員が考えたものを提示して、考え方を修正する練習の際に参考にしてもらいました。</p>										

<p>23</p>		<p>バランスのとれた考え方に修正する練習のあとに、ネガティブな考え方が必要な時もあること、しかし問題なのは、常に同じ考え方をして、その考え方がクセになっていることに気付けないこと。そして、自分がネガティブな考え方をしていることに気付き、自分の考え方が偏りすぎていないか、バランスのとれた考え方に修正していくことが大切である。といった内容を伝えました。</p>
<p>24</p>		<p>次に感情を調整する力についての発表を行いました。「セルフ・コンパッション」といって、自分自身に寄り添い、思いやることで、困難な状況でも前向きな気持ちを持ち続けられるようにする考え方があります。</p>
<p>25</p>		<p>セルフ・コンパッションを高める方法についても発表しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自分へ優しい言葉をかける 2.自分の心や体の状態に気づく 3.コンフォートカードを作成する <p>などがあります。</p>
<p>26</p>		<p>生徒にも自分を励ます言葉や落ち着かせる言葉、前向きになれる言葉を考え、ワークシートに記入してもらいました。</p>
<p>27</p>		<p>発表の最後に内容のまとめをしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考え方のクセに気づいて、バランスのとれた考え方に修正していくこと。 ・自分を否定したり、批判したりしすぎずに、自分自身に思いやりの気持ちを持って受け入れることが必要なこと。 <p>その結果、ネガティブな気持ちや考え方を切り替えることができ、感情に振り回されにくくなったり、ストレスに強くなれたりする。そして、困難な場面に直面しても立ち直れる「レジリエンス力」のアップにつながる。</p> <p>と、まとめをしてリモートの発表を終わりにしました。</p>
<p>28</p>		<p>リモート発表で使用したワークシートを回収し、集計しました。友達から返信がなかったときにどのように考えるか？の質問では約4割の生徒が返信がないこと心配したり、自分が何か嫌われることを送ってしまったのではないかとというネガティブよりの回答でした。約6割の生徒は、「気にしない」や「放っておく」と回答し、ポジティブよりに「もう一度LINEしてみる」や「学校で直接聞いてみる」と回答した生徒も少数いました。</p>
<p>29</p>		<p>「でも」をつけて、ネガティブな考え方をバランスのとれた考え方に修正する練習では、こちらのスライドのような修正後の考え方が記入されていました。</p>
<p>30</p>		<p>自分を励ますお気に入りフレーズでは、さまざまな言葉が記入されていました。</p>

<p>31</p>	<p>生徒の感想 (一部抜粋)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ネガティブは悪いことだと思っていたけど、良い使い方ができることもわかった。バランスのよい考え方をしたい。 ・自分の考え方を整理すきっかけになったのでよかった。 ・常にネガティブな考え方で自分を追い詰めるのではなく、ネガティブな考え方に慣れることに気づき、バランスのとれた考え方に直していくことが大切だと思った。 ・今まで、できなかった自分を責めていたけど、自分自身を受け入れ、自信を持つことが大切だとわかった。 	<p>生徒の感想では、常にネガティブな考え方で自分を追い詰めるのではなく、ネガティブな考え方になっていることに気づき、バランスのとれた考え方に直していくことが大切だと思った。などの感想が書かれていました。</p> <p>リモート発表により、自分の考え方を見直すきっかけ作りができ、「自分の考え方のクセに気づいて変える力」に、少しはアプローチできたのではないかと考えています。</p>																								
<p>32</p>	<p>保健委員会の取り組み</p> <p>文化祭企画</p> <p>自分自身にだいたい満足している 嫌なことに振り回されない工夫ができる ネガティブな気持ちや考え方を切り替えられる 困難や挫折から立ち直る方法がある 自分の強みや長所を知っている</p> <p>自己肯定感 感情を調整する力 考え方のクセに気づき変える力 自己効力感 強みに気づき活用する力</p>	<p>最後は「強みに気づき活用する力」について、保健委員会が取り組んだことを発表します。</p>																								
<p>33</p>	<p>自分の【強み】を見つけよう</p> <p>文化祭企画</p> <p>①24種類の「強み」についてそれぞれ書かれたものを読み、もっとも自分には当てはまるものを1つ選んでもらう。 ②人に親切にし、人のために良い行いをする、努力の姿を褒め、感謝を伝える。 ③結果をイラスト入りカードでお渡しする。</p> 	<p>文化祭の校内企画として「自分の強みを見つけよう」というものを行いました。内容は24種類の「強み」についてそれぞれ書かれたもの、例えば「人に親切にし、人のために良い行いをする」「たくさんの知識や能力を得ようとする」などを読んで、もっとも自分の考え方や態度に当てはまるものを1つ選んでもらう、というものです。結果については保健委員が書いたイラスト入りのカードでお渡ししました。</p>																								
<p>34</p>	<p>『強み』カード</p> 	<p>こちらが、お渡ししたカードの一例です。</p>																								
<p>35</p>	<p>強み診断結果の集計</p> <p>○吉井高生(59名)向上部4項目</p> <table border="1"> <tr><td>1 ユーモア</td><td>12名</td></tr> <tr><td>2 感謝する心</td><td>6名</td></tr> <tr><td>3 思いやり</td><td>5名</td></tr> <tr><td>4 人と関わる力</td><td>5名</td></tr> <tr><td>5 学ぶ意欲</td><td>4名</td></tr> <tr><td>5 愛情</td><td>4名</td></tr> </table> <p>○一般来場者(43名)向上部4項目</p> <table border="1"> <tr><td>1 ユーモア</td><td>7名</td></tr> <tr><td>2 愛情</td><td>6名</td></tr> <tr><td>3 誠実さ</td><td>4名</td></tr> <tr><td>4 感謝する心</td><td>3名</td></tr> <tr><td>4 学ぶ意欲</td><td>3名</td></tr> <tr><td>5 希望</td><td>3名</td></tr> </table>	1 ユーモア	12名	2 感謝する心	6名	3 思いやり	5名	4 人と関わる力	5名	5 学ぶ意欲	4名	5 愛情	4名	1 ユーモア	7名	2 愛情	6名	3 誠実さ	4名	4 感謝する心	3名	4 学ぶ意欲	3名	5 希望	3名	<p>強み診断には吉井校生59名、一般来場者43名が参加してくれました。集計の結果、それぞれ上位6項目がスライドの通りとなります。参加者からは、「参考になった」や「自分と向き合うことができた」「励まされた」などの感想をいただきました。</p>
1 ユーモア	12名																									
2 感謝する心	6名																									
3 思いやり	5名																									
4 人と関わる力	5名																									
5 学ぶ意欲	4名																									
5 愛情	4名																									
1 ユーモア	7名																									
2 愛情	6名																									
3 誠実さ	4名																									
4 感謝する心	3名																									
4 学ぶ意欲	3名																									
5 希望	3名																									
<p>36</p>	<p>【体験】自分の「強み」を見つけましょう</p> <p>お配りしました、「強み一覽表」をお読みいただき、それぞれ、自分の考え方や態度に当てはまるものに○をつけてください。 ご記入が終わりましたら、保健委員がお伺いします。</p> <p>※集計 吉井高生(59名)向上部4項目 ※集計 一般来場者(43名)向上部4項目</p> 	<p>別紙でお配りしてある、「強み一覽表」と「自分の強みを見つけましょう」と書かれている紙をご覧ください。本日出席されている方々にも強み診断を体験していただきたいと思います。「強み一覽表」の1～24の項目をお読みいただき、それぞれ自分の考え方や態度に「とてもよくあてはまる」「あてはまる」「どちらともいえない」「あてはまらない」に○をつけてください。書き終わりましたら保健委員がお伺いします。</p> <p>(強み診断実施)</p> <p>ご参加いただきありがとうございました。 各、保健委員からも説明があったと思いますが、『強み』を意識的に使うと、ストレスをうまく発散できたり、逆境に立ち向かう力が育ちやすくなったりします。ぜひ、自分の強みを意識して生活してみてください。</p>																								
<p>37</p>	<p>今後の取り組み</p> <p>強み診断の継続実施</p> <p>学校保健委員会の内容啓発</p> <p>さらなるレジリエンス力向上を目指す</p>	<p>最後に今後の取り組みについてです。1つ目は「強み診断」をまだやっていない吉井高生にも実施したいと考えています。保健室前の廊下に掲示するなどして気軽に体験できるようにします。2つ目は本日の学校保健委員会の内容について保健だより等を通して啓発します。そして、引き続き吉井高生のレジリエンス力の向上を目指していきます。</p>																								

38



以上で保健委員会の発表を終わりにします。ご清聴ありがとうございました。礼